



平成28年度 君津西地区 地域ケア会議 報告書

平成29年1月30日（月）君津市生涯学習交流センターにて、

「ちょっとした手助け」について意見交換を行いました。

内容

平成28年11月に実施した、1回目の地域ケア会議では、君津西地区の地域課題として「ちょっとした手助け」「移動手段」「買い物不便」という意見があがり、2回目で検討するテーマを「ちょっとした手助け」に絞りました。

2回目に行われた地域ケア会議では、参加していただいた各団体で、できる事はないか、特に「自助・互助」の力を活かしてできる事を検討していただき、その結果を発表しました。

その後、西地区としてこういった取組みを行っていくかの意見交換を行いました。

ご意見

●ちょっとした手助けについて

- ・ 高齢になり、役員を受けられないからと自治会を抜けてしまう人もいるが、地域との回覧による安否確認等、かかわりを継続していくことは大切なので退会しないでほしい。
地域の集まりに参加して、お互い顔の見える関係を作っていくことも必要ではないか。
- ・ 社会資源を住民がどのように知るか、システム作りや周知の方法が大切。
- ・ コープみらいでは、月1回、組合員や地域の方が集まる場（みらいひろば）をこの地域でも開催しているのでぜひ参加してほしい。
また、認知症サポーター養成講座などを実施している。コープみらいの組合員向けに発行している広報で、地域の活動を紹介することも可能である。
また、船橋市では地域包括支援センターや民生委員などと、サロンを月1回開催している。こうした取組みについて、できる範囲で協力していきたい。
- ・ 無料だと頼みにくいかもしいので、低料金の手助けがあると良い。

ご意見

- 周西地区自治会長会や地区社協の年2回のふれあいサロン事業で福祉や介護の情報発信、PRの場に使ってもらって構わない。また、自治会連絡協議会で包括や事業所などから提案してもらえると話し合ういい機会になるのではないか。
- サロンは交流する機会が増えるだけでなく、互助につながる可能性もある。現在、1か所だけだが、今後、開催場所を増やすことも検討している。
- 具体的な活動内容を各団体から把握することも必要ではないか。

●その他（買い物支援について）

- 生協は便利だが、カタログの量が多く、注文票は見にくいいため、高齢者は利用しにくいという意見があり、コープみらいから、「注文票については、改良して大きく書きやすいもの、カタログを工夫したもの、視覚障がい者向けのテープに吹き込んだリーディングサービスなど、注文しやすい工夫をしている」との回答があった。

まとめ

○地域資源を分かりやすく「見える化」していくための作業として、各団体でどのようなことが出来るのかを具体的に提示してもらい、次回の地域ケア会議で発表してはどうか。

○このような手助けの仕組みをシステム化していけるよう、周西地区自治会長会や自治会連絡協議会でのPR活動を試みることも検討する。

ご意見を参考にさせていただき、平成29年度の地域ケア会議を実施していきたいと思えます。



君津市地域包括支援室

TEL 0439-56-1732

君津市久保 2-13-1

君津市役所 高齢者支援課